学校番号	３０８

令和８年度　芸術科

教科	音楽	科目	音楽Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	Joy of Music　（教育芸術社）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと（歌唱）」「楽器を演奏すること（器楽）」「音楽をつくること（創作）」「音楽を聴くこと（鑑賞）」の４つの分野を、年間通じて学習します。
・音楽の表現力や鑑賞力を高めるために、楽曲に対してイメージや思いを持ち、主体的・意欲的に取り組みましょう。そして、音楽を幅広い視点からとらえることのできる力、自らが考える美しさを音で表現するための力を身につけていきましょう。
・自分の演奏だけでなく友達の音楽も大切にし認め合い、アンサンブルや発表の機会など授業の様々な場面で、音や言葉によるコミュニケーション力を養ってほしいと思います。
・学習の到達度は、授業中のワークシートや課題、実技テストで評価しますが、授業中の意欲的な取り組みも評価します。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
音楽の幅広い活動を通して感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。
【思考力、判断力、表現力等】
音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てる。
【学びに向かう力、人間性等】
音楽の幅広い活動を通して、音楽文化についての理解を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり、及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、表現している。	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表現するか思いや意図を持っている。	・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現・鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	アンサンブル	●器楽 ミュージックベルによるアンサンブル	a: 表現したいことを伝えるための楽器演奏の技能を身につけている。 b:旋律・リズム・速度など音楽を形づくっている要素を知覚し、自分の役割を認識し、どのように演奏するかについて表現意図を持っている。 c: アンサンブルに関心を持ち、学習に主体的に取り組もうとしている。	実技テスト ワークシート	実技テスト ワークシート	実技テスト ワークシート 授業観察
	楽典	●楽典 音程・和声・記号・用語等	a: 音楽の理論や楽典について、成り立ち・特徴を理解しようとしている。 b:理論や楽典について、それらが音楽を形づくる基礎であることを認識し、その重要性を考えたりしている。 c: 理論や楽典の学習に主体的に取り組もうとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート 授業観察
	鍵盤楽器演奏	●器楽≪鍵盤楽器≫ 基本奏法・音階練習・練習曲等	a:鍵盤楽器の持つ特徴・多様性を感じ、基本的な奏法の特徴を理解し身につけようとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚しそれらの働きを甘受しながら音楽表現を工夫し、意図をもって演奏している。 c:創造的に表現しようと、意欲的に取り組んでいる。a:楽譜の音高について正しく把握することができる。	実技テスト 授業プリント	実技テスト 授業プリント	実技テスト ワークシート 授業観察
	合唱	●歌唱 3部合唱	a: 曲想や歌詞の内容を理解し、より良い発声について理解を深め、身につけている。 b:曲の特徴を理解し、よりよく表現するよう工夫している。 c: イメージを持って歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート 授業観察

2学期	器楽アンサンブル	●器楽アンサンブル グループに分かれ、曲や編成を自由に決定し演奏を発表する。	a: 表現したいことを伝えるための歌唱や楽器演奏の技能を身につけている。 b:旋律・リズム・速度など音楽を形づくっている要素を知覚し、曲の特徴を生かした表現を工夫し、どのように演奏するかについて表現意図を持っている。 c: アンサンブルに関心を持ち、仲間と一つの音楽を作る喜びを感じながら学習に主体的に取り組もうとしている。	実技テスト ワークシート	実技テスト ワークシート	実技テスト ワークシート 授業観察
	日本の伝統楽器に触れよう	●器楽≪箏≫ 基本奏法 練習曲 さくら変奏曲 箏による創作	a:箏の音色や奏法を学習し、どのように表現したいのかという意図を伝えるための技能を身につけている。 b:音楽表現を工夫し、どのように表現するか意図を持って取り組んでいる。 c:我が国の伝統楽器である箏の音色や奏法に関心を持ち、それらを生かして演奏することに意欲的に取り組んでいる。	実技テスト ワークシート	実技テスト ワークシート	実技テスト ワークシート 授業観察
	コンサートを作る	●コンサートの運営 演者として演奏を発表するのと同時に、スタッフとして演奏会を運営する。	a: 表現のための歌唱・楽器演奏・音楽理論の知識、またスタッフとして演奏会を運営するための技能を身につけている。 b: 自分の表現したい演奏をイメージして、そのために必要な技術獲得のために取り組んでいる。また、他グループの発表の音楽的意図を理解し、その実現を支援するためのイメージを持って取り組んでいる。 c:アンサンブルに関心を持ち、仲間と一つの音楽を作る喜びを感じながら意欲的に取り組むと同時に、より良い演奏会を作ることに、意欲的に取り組んでいる。	実技テスト ワークシート	実技テスト ワークシート	実技テスト ワークシート 授業観察

3学期	レポート作成	●レポート作成 【音楽と社会との関わり】について考察し、レポートにまとめる。	a: 音楽と社会との関わりについて、それぞれの経験や音楽体験も踏まえテーマを決め、文献や情報を活用しレポートを作成しようとしている。 b:引用し参考にする文献と、それをもとに考察する部分を明確にし、音楽の持つ社会的な役割について思考を深めている。 c: レポートの題材に関心を持ち、学習に主体的に取り組んでいる。	レポート	レポート	レポート 授業観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度